

椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第15号

鈴鹿市立椿小学校
Tel. 059-371-1014

令和4年8月19日

学校生活を振り返って～第1回学校アンケート結果より

7月末に実施しました学校生活アンケートの集計結果をお知らせします。お忙しい中、回答にご協力いただきありがとうございます。子どもの実態や取り巻く環境にあわせて4、5、8、13の項目については今回追加したので、今後の推移をみていきたいと思ひます。また、表現を一部変更したものもあります。(保護者93名の回答)

保護者アンケート		④そう思う ③どちらかというと思う ②どちらかといえばそう思わない ①そう思わない
1	学校は、各種おたより・メール配信等を通して教育方針や活動内容、緊急連絡を適切に伝えていますか	63.4 36.6 0.0
2	学校と保護者・地域との連携はうまくいっていると思いますか	43.0 54.8 11.1
3	学校は、保護者が授業や学校行事に参観する機会を状況に合わせて適切に設けていますか	51.6 48.4 0.0
4	学校は、子ども主体の活動を大切にしていますか	49.5 48.4 1.0
5	学校は、子どもの支援を適切に行っていると思いますか	45.2 53.8 1.0
6	お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っていますか	63.4 33.3 10.0
7	お子さんは、学校の授業がよくわかると言っていますか	32.3 52.7 14.0
8	お子さんは、ICT機器を学習に役立てていると思いますか	37.6 50.5 10.8
9	お子さんは、家庭学習をする習慣をつけていますか	21.5 57.0 18.3
10	お子さんは、朝ごはんを毎日食べていますか	88.2 9.7
11	お子さんは、睡眠時間をしっかりとれていますか	44.1 45.2 9.7
12	お子さんは、ご家庭や地域で、挨拶をする習慣がついていますか	41.9 50.5 5.4
13	お子さんは、交通安全に気をつけて、一旦停止、手を挙げての横断をしていますか	33.3 54.8 10.8

【保護者アンケート】は、昨年度の同じ時期に比べると、全体的に肯定的な意見が多くなっています。保護者・地域の連携については良好ですが、③の割合が増えていますので、それぞれの活動情報をお伝えするなどして風通しをよくし、いっそう信頼と連携が進むような学校運営を進めていきたいと思ひます。また、学校に行くのが楽しいとみているですが、授業が分かりにくいととらえている割合が15%もあります。さらに、家庭学習の取り組みや挨拶をする習慣は若干改善されていますが、未だ21.3%の保護者の方は、学習習慣がついていないと感じています。学習がわかっているのか確信が持てないご家庭もある

ようです。補充学習も含めて、できる範囲できめ細かな支援を行っていきます。

【児童アンケート】ですが、保護者アンケートと同様、昨年度と質問内容の変更があります。5, 8, 10は追加した項目ですので、今後推移をみていきます。また、一部状況にあうように、表現を変更している設問もあります。

児童アンケート		④さう思う ③どちらかというところさう思う ②どちらかといえばさう思わない ①さう思わない			
1	学校は楽しいですか	71.3	19.8	7.9	0
2	学校の勉強はよくわかっていますか	54.5	37.6	5.8	0
3	先生や友だちの話をしっかり聞くことができましたか	64.4	29.7	5.9	0
4	進んで発表することができましたか	45.5	32.7	16.8	5.0
5	勉強がわからないときに、きくことができますか	56.4	31.7	8.9	0
6	宿題は、きちんとできていますか	76.2	15.8	5.8	0
7	家庭学習【自主学习】をしていますか	70.3	5.9	5.9	17.8
8	ゲームやスマートフォンなどを1日にどれくらい使っていますか	28.7	34.7	18.8	17.8
9	家や学校で読書をしていますか	49.5	27.7	15.8	6.9
10	クロームブックを学習で使うのは楽しいですか	81.2	13.9	3.0	0
11	わくわくタイム、集会は楽しいですか	86.1	11.9	0	0
12	学校のきまりを守っていますか	43.6	47.5	7.9	0
13	自分からあいさつをしていますか	60.4	29.7	5.9	0
14	いじめが起こらないように、気をつけていますか	69.3	25.7	4.1	0
15	自分には、よいところがあると思いますか	49.5	25.7	9.9	14.9
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	84.2	13.9	0	0
17	将来の夢や希望はありますか	72.3	14.9	7.9	5.0
18	朝ごはんを毎日食べていますか	84.2	7.9	5.8	0
19	すいみん時間をしっかりととることができますか	54.5	27.7	5.9	11.9

(設問8の選択肢 ④0～1時間 ③1～2時間 ②2～3時間 ①3時間以上)



一番楽しみ、6年生主催のわくわくタイム

のつながりで得られる充実感は大きいものだと思います。一人で向き合う機器の活用も、人とかわりあう子ども主体の活動もどちらも充実し、楽しんでいるようです。

つぎに、「勉強はよくわかる」92.1%、「しっかり話を聞くことができる」94.1%、「進んで発表することができる」78.2%と、確信をもって答えた子どもが昨年度よりぐんと増えました。普通の授業を見ている、真剣に集中して取り組んでいる姿が見ら



夏休み中の校内教員研修会…ねらいをはっきりとした授業を組み立てる練習

いっぼう、課題としては、今回初めてアンケートで確認した8の「スマホ、ゲームの使用時間」です。予想をはるかに超えるものとなっています。1～2時間が一番多いですが、2～3時間とそれ以上を合わせると36.6%となりました。1年～6年までのデータですから、個々に見ていくと、ゲームの虜になっている子どももかなりいるように感じます。それが全くダメということではなく、バランスが大切です。成長過程で今の時期に出会ってほしいもの…自然や人との触れ合い、知的好奇心の追求、体力の向上、家庭学習や読書の習慣など…自分で突き詰めていくチャンスをなくしていることはとても心配です。

以上、アンケートからわかることを述べましたが、9,14の行動にかかわる項目も含め、引き続きよりよい仕かけを考え、学校づくりをしていこうと思います。

まずは、全体的に肯定的な意見のうち、昨年度より確信をもって「④そう思う」と答えた割合が多くなっています。

ありがたいことに、91.1%の児童が「学校を楽しい」と感じています。また、「クロームブックの活用」は95.1%、「わくわくタイムや集会」は98%の児童が楽しいと感じています。クロームブックは、かなり使いこなせる内容も増え、学習や様々な創造的な活動に役立てることができています。また、異学年とのかかわりは、今年度は清掃活動にも取り入れており、縦



異学年でのスムーズな清掃活動

れ、学びに向かう力が大きいことがわかります。それには、まずはお家での安定した生活や、ご家族との温かいかわりが大きな支えです。学校においても、今年度は特に椿小の課題である「算数」を中心とし、教員が2人以上で子どもを支援する体制をとり、特に、分かりにくい子どもへの特性に応じたサポートができるようにしています。そして、すべての子にわかる、できる喜びを持たせたいと、職員もより良い授業ができるよう研修をおこなっています。



体力の弱みを克服するため、体育のサーキットトレーニングを開発、試行中！！

■□夏休み宿題応援教室！！ in 鈴峰地区公民館□■

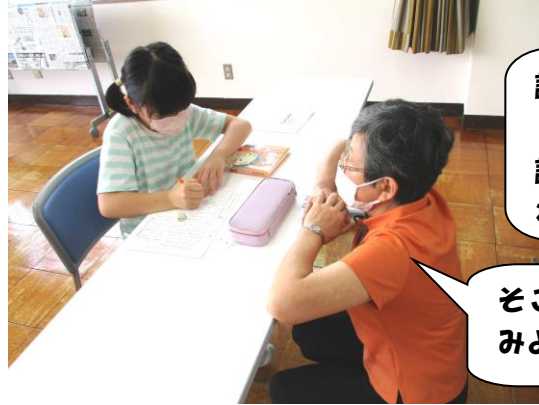
昨年度に引き続き、開催された公民館の宿題応援教室。今回は、4、5年生が申し込み、深伊沢小学校のお友達と一緒に、読書感想文とポスターに挑みました。講師の先生のわかりやすいレクチャーに、ちょっと緊張しながらも、次第に調子に乗って、すいすいと仕上げていきました。



読書は嫌いと言っても、しっかり読めているよね！！

そこを膨らましてみようね！！

どの色がいいかな～



🏠 いつの時代も変わらない?! …平和な世界を築いていく力

先日、レガシー事業にかかわって、椿小学校百周年のインタビューで、三浦次一さんと川北さんにお越しいただいた折、校長室で戦時中の生活をお聞きする機会がありました。学校で芋やスイカなどを植えていたという、ほのぼのとしたお話とは対照的に、戦争に兵士として取られたお父様の事や防空壕などのお話の時は、険しい表情をされていました。「今の外国でおきている侵略と太平洋戦争は同じことをやっている。あんなにひどい思いをした何十年前にもあったことと、今おこっていることは何にも変わってない。」と言われていたことが印象的でした。

WE LOVE PEACE!!



pixta.jp - 845134

夏の暑い日の朝は、広島・長崎原爆の日を想像してみたりします。かつて日本でもあった戦争を思い返してみると、責任ある指導者の決断の重要さとともに、それを選ぶ私たちの責任の重さを身にしみて感じます。

生命を尊重し、他人の立場を理解し、思いやりや寛容の精神を育成することは学校教育で大切にしたい項目です。さらに、価値観の違いを認め合うこと、対立した場合は話し合いで解決すること、分け合うこと、思いやること、暴力は憎しみしか生まないからつまらないこと…などなど、学校という小さな小さな社会の中で、子どもたちに学ばせたいものやつけたい力は、平和を築く上での基本中の基本です。子どもたちにも小さい喧嘩や対立、行き違いなどは日常茶飯事にあります。状況を見て教員が介入することもあります。起ったことを振り返り、自分で考えさせること、次にどうしたらいいかを確認して行動させていくこと、そういった積み重ねを大切に紡いでいきたいと思っています。



今盛んに言われている「答えのない課題を考え解決していく力」を身に着けることはとても重要です。人間は非力でもろいものですが、同時に思いのほかしたたかで、柔軟で、強くもあると思います。また、ひとりではできないことが、手を取り合うことで大きな力を生み出すと考えます。

同じ失敗を繰り返さないために、大人も子どももよく学び、よく考え、よりよい解決へ向かわなくてはなりません。とても難しいテーマだと思います。